

真宗史上最古の一幅御絵伝に親鸞聖人の恩徳をいただく

親鸞聖人御絵伝

額装

山南 光照寺蔵

監修 ■ 千葉乗隆 (浄土真宗教学研究 所長)

(龍谷大学名誉教授)

解説 ■ 千葉乗隆

平松令三 (元真宗連合学会理事長)

細川行信 (大谷大学名誉教授)

親鸞聖人九十年の

ご一生とご苦勞を偲び、

み教えをいまあらたに抑ぐ。

宗祖・親鸞聖人の尊いご生涯は、本願寺第三代覚如上人によつて絵巻「親鸞聖人伝絵」に描かれました。のちに、一堂にして聖人のご生涯を追慕し、信心を深めることができるように、卷子から軸装「親鸞聖人絵伝」へとその形態をかえ、以来、礼拝の対象として今日まで連綿と受け継がれています。

本御絵伝は、存覚上人の指導のもとに、製作された現存最古の御絵伝の完全複製であり、現代的に額装に仕立てたものであります。一流の画工隆円が聖人のご生涯を忠実にしかも精緻に描く筆致は、ご生前の聖人のお姿を彷彿とさせ、まさにご遺徳を偲ぶ貴重な重宝といえましょう。



▼一幅に描かれる親鸞聖人の一生
(出家得度から大谷廟堂まで20場面)

大谷廟堂 [20]	火葬 [19]	聖人臨終 [18]
箱根権現 [15]	平太郎 参上 [16]	熊野権現 [17]
山伏懺悔 改心 [14]	板敷山 [13]	稲田草庵 [12]
内裏での 詮議 [9]	越後への 出発 [10]	関東への 道行き [11]
信心 諄論 [8]	信行 両座 [7]	真影に銘 を書く [6]
六角堂 夢想 [3]	選撰集を 許与 [4]	内題と名 字を書き 与える [5]
吉水入室 [2]		出家得度 [1]

カ ス ミ

親鸞聖人御絵伝の特長

1 真宗の誇る貴重な文化財

建武5年(1338)の製作が明らかな最古の御絵伝であり、現在文化庁による「重要文化財指定」のための調査が行われています。近々、指定を受ける見込みです。

2 存覚上人が監修して製作

各場面の札銘(説明書)と裏書は存覚上人自筆のものであり、上人監修のもとに製作された名品。

3 一幅仕立ての親鸞聖人御絵伝

親鸞聖人の九十年におよぶ生涯が一幅の中におさめられた唯一の御絵伝。

4 一流の画工が描く精緻な絵柄

南北町時代の絵所・祇園社の画工隆円が存覚上人の監修のもとに、聖人の行状を忠実にしかも精緻に描いています。当時の様相が具象的に示されています。

5 わかりやすい解説書とパネル

親鸞聖人と御絵伝に関する歴史的な解説と本御絵伝にそくした丁寧なひとつひとつの場面解説は絵解の際にご活用いただけるものです。また、ひとめで聖人の生涯がわかるパネルも進呈いたします。

6 一門信徒の皆様にもおすすめできます

礼拝の対象として、一家の什宝として伝持していただけます。

場面解説パネル

▼ひとつひとつの場面を丁寧に説明しています



仕様・体裁その他

額装寸法 ■ 天地123.0センチ×左右83.0センチ

本紙寸法 ■ 天地102.0センチ×左右70.0センチ

用紙 ■ 特漉鳥の子紙

印刷 ■ カラーグラビア多色刷

(株式会社日本写真印刷)

額仕様 ■ 額縁：ペルボックス黒塗

マット布：桂川鍛子

解説書 ■ B5判・60頁〔歴史篇〕

A5判・20頁〔場面説明〕

* 場面解説パネルを進呈いたします *

▼発売元

株式会社 同朋舎出版

仏教事業部 担当

京都市中京区新町通四条上ル小結棚町426 西澤善ビル 〒604

電話=075-211-8546 FAX=075-211-7722